



自ら考え 学び続ける生徒
心豊かで 思いやりのある生徒
体を鍛え やり抜く生徒

夏休み

石川 浩

自分を育てるのは自分 -夏休みは自分の力で自分を伸ばす大切な時間-

7月21日から長い夏休みに入ります。夏休みに入るにあたって、その意義について考えてもらえたらと思っています。深谷中学校を始め深谷市内の小・中学校の教室にエアコンの設置していただいてからもう5年以上になります。真夏でも学校で勉強することは以前のように厳しいことではなく、暑いから夏休みがあるという考えはできなくなりました。しかし私は、それでも長期間の夏休みは必要だと考えています。

日本に限らず、豊かな社会に共通する困った現象や状況がいくつかあります。その一つは、汗を流さない、仕事に励まない若者が増え、高校等へ進学しても就職しても、ちょっと気に入らないことがあるとすぐに辞めてしまう人が増えるということです。また、何かがうまくいかないと、それを他人のせいにして文句だけは一人前に言ったりする人が増えるということも困った状況です。

大切なことは、自分を育てるのは自分自身だということを自覚することではないかと私は考えます。先生もご家族も地域の方々もちろん重要ですが、それ以上に学ぶ主体者である生徒の皆さん自身の姿勢・態度が大切です。教室での授業を例に考えてみましょう。静かにして前を向いている生徒を見れば、ほとんどの人は、先生でも、きちんと聞いていると思ってしまう。もしかしたら生徒の皆さん自身もそうかもしれません。聞き流していることに気づくのは難しいのです。教室で静かに座っているだけで勉強したと錯覚し、学んでいないことを自覚しないまま自分で学ぶことをしなければ、自分を育てることはできません。

もう一つ大切なことは、自分にとって都合の悪いことを、人のせいにしないということです。親が悪いからとか、相手の言い方が悪いから言うことを聞かない等の態度や考え方は、改善や成長の機会を逃し、結果的に自分を駄目にしてしまいます。自分に都合よい理由はいくらかでも挙げられます。しかし、自分がよくなる努力は自分でしなければならぬことを、本当は皆さんも分かっていると思います。親が悪いからだとか誰がこうだからと誤魔化そうとするとところから抜け出さなければいけません。小さなちいさなことから、**自分の責任で、自分を高める努力をすることが必要**です。他人に自分がどう見えるかということではなく、自分が自分自身を本当はどう見ているかということ、まずきちんと気づき受け止めなければなりません。そうして、自分が本来もっている可能性や力も努力しなければ、伸ばすことも確かめることもできないということを確認しましょう。

期間が長く、しかも学校の勉強が進まない夏休みは、皆さんが自分の力で自分を伸ばす大切な時間です。学校で勉強したつもりでいたけれど聞き流していなかっただろうか、勉強したことは本当に身に付けているのだろうか・自分一人の力でできるようになっているかを確認する時間です。また、普段はおざなり、あるいはなおざりにしている家庭の中の仕事や役割を再確認し、できるようにするのもよい時間です。いつもはつい目先のことばかりにとらわれがちですが、自分の将来のことを考え、身に付けたいこと・身に付けておくべきことを確かめ、できるようにするために、やはり夏休みは必要です。校訓「独立自尊」の種子から1学期の間に皆さんの中で芽吹いた芽を、強く大きく育てるために、この夏休みを十分に活用してほしいと願っています。

1学期を振り返って

1学期終業式の中で、1年生は田口莉彩さん、2年生は茅田侑杏さん、そして3年生は加納小遥さんが、学年の代表として、今学期を振り返るとともに、夏休みあるいは2学期以降への決意を語ってくれました。その一部を紹介します。



田口莉彩さん
1年1組



中学生になり、大きく変化したことが二つありました。一つ目は初めての部活動です。それぞれが自分の意志で決め、頑張っ、今は生活の一部だと感じます。先日先輩の試合を応援しました。それまでの先輩たちの努力とあきらめない姿勢を目の当たりにし、とても感動しました。二つ目は日々の勉強と定期テストです。小学校ではなかった順位がつきます。私は、勉強も部活と同じように自分の意志で行うことだと思います。努力したことも努力しなかったことも、目に見える形で結果が出るというのは、怖いけれどやりがいがあると感じます。私は、部活動も勉強も努力の積み重ねだと思います。どれだけ自分の積み重ねていけるか、苦しむのではなく、楽しみたいと思います。

茅田侑杏さん
2年1組



私たちが学年委員は、『先輩としての自覚をもち、成長し続ける緑学年』であるために、授業、家庭学習、生活、友達関係、服装の5つの面からチェックし、改善を図りました。学期末には、1時間1時間の授業を大切に集中すること、夏休み前に自主学習を定着させるために改めて毎日2ページの自主学習をチェックすることに取り組みました。まだ課題はありますが、地道に取り組んでいきます。2学期には、深谷中の三大大行事である文化発表会、体育祭、音楽会があります。また2年生はさらにチャレンジ体験もあります。クラス、学年、学校で一つとなって、それぞれの行事を成功させていきます。1年生から憧れられる先輩を目指し、3年生をしっかりサポートできるようになります。そのために、先生に頼る前に先ず自分たちで考え行動し、自立への第一歩を踏み出す2学期にします。

加納小遥さん
3年1組



私たちが最上級生になってから4ヶ月が経とうとしています。こんなに月日が経つのが速いとは思っていませんでした。多くのことを学び経験しましたが、特に三つのことが思い出に残っています。一つ目は修学旅行です。班別行動では仲間と協力することや時間で行動する大切さを改めて学びました。座禅体験では雑念を払い心を「無」にすることで不安や悩みから解放されることを味わえました。二つ目は「学総」です。部活動の集大成となるこの大会では、負けは引退を意味します。身をもって味わった勝負の厳しさややり切った経験は、受験の苦しさも乗り切る力になると思います。三つ目は先日行われた進路説明会です。受験までのスケジュールやいろいろな高校の特色や入試についての詳しい説明を聞き、自分の進路をしっかりと決めていきたいという思いが強くなりました。明日からは私たち3年生にとって中学校最後の夏休みです。受験生にと手夏休みはとても大切な時間です。しっかりと計画を立て、その計画を実行できるようにします。

埼玉県学力・学習状況調査結果の返却について



4月に全学年を対象に実施した「埼玉県学力・学習状況調査」の結果が届きました。「個人結果票」を3年生は三者面談、1・2年生は家庭訪問で各ご家庭にお渡しします。この調査は、小学校4年生から中学校3年生までの期間、学力をどのように身に付けているかを、子供たち一人一人の「学力レベル」と「学力の伸び」からとらえようとするものです。今回お渡しする「個人結果票」では、中学校に入学してからの伸びを確認できます。1・2年生については、小学校で実施された本調査の「個人結果票」(小学校から配布されたもの)があれば、その学年からの伸びも確認できます。調査結果を通知表と併せてご覧いただき、お子さんの「現在の学力」と「よいところ」「努力が必要なところ」を把握し、お子さんに合った目標設定や学習のしかた等をご家庭で話し合ってください。その際、よかったところや伸びたところをほめて、お子さんの自信を膨らませてあげることが大切であり効果があります。

また、埼玉県学力・学習状況調査のホームページ <http://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/20150605.html>にある「復習シート」を活用し、自分の苦手な内容を克服したり得意なところを更に伸ばしたりするような学習を、夏休み中にぜひ進めてください。※この調査は4月に実施するため、各学年の調査問題は1つ下の学年までの内容となっています。1つ上の学年の問題にチャレンジしたり、下の学年の範囲で自分がつまづいている内容の問題を使って復習したりしてみましょう！

